

船舶事故等調査報告書

平成25年6月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013長第17号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成25年2月9日（土） 11時00分ごろ
発生場所	熊本県上天草市高杣島 <sup>たかもく</sup> 北西方沖 上天草市所在の天草大矢野橋橋梁灯（C1灯）から真方位276°3,200m付近 （概位 北緯32°32.9′ 東経130°23.3′）
事故等調査の経過	平成25年3月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	モーターボート エフジー、5トン未満
船舶番号、船舶所有者等	271-33614熊本、ヤマハ熊本プロダクツ株式会社
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士
死傷者等	なし
損傷	プロペラ及びプロペラシャフトを曲損、船底に擦過傷
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗船し、船首約1.0m、船尾約1.5mの喫水により、高杣島北方沖を魚群探索しながら、約2～3ノットの対地速力で西進中、平成25年2月9日11時00分ごろ高杣島北西方沖の浅瀬に乗り揚げた。 本船は、自力で離礁し、定係地である熊本県八代市のマリーナに帰航した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約1m/s 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
その他の事項	船長は、本事故発生場所付近の海域を操船して航行するのは初めてであり、本事故発生場所付近に浅瀬があることは知っていたものの、海図によって浅所の位置を確認していなかったため、浅瀬が高杣島北西方沖に拡張していることを知らなかった。 本船は、レーダー、GPSプロッター及び魚群探知機を備えていた。
分析	
乗組員等の関与	あり
船体・機関等の関与	なし
気象・海象の関与	なし
判明した事項の解析	本船は、高杣島北方沖を西進中、船長が海図によって浅所の位置を確認していなかったことから、高杣島北西方沖の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。

<b>原因</b>	本事故は、本船が、高杣島北方沖を西進中、船長が海図によって浅所の位置を確認していなかったため、高杣島北西方沖の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
<b>参考</b>	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none"><li>・初めて航行する海域は、事前に海図で浅所の位置を確認すること。</li></ul>